

まちのわだい



身近なできごとや旬の話題を、
企画振興課秘書広報担当 ☎ 6550 (役場 1階) まで
お知らせください。皆さんからの情報をお待ちしています!!

優しい心を子どもたちへ

日野町赤十字奉仕団が紙芝居

1月19日(火)、日野町赤十字奉仕団の方6名が、必佐幼稚園の子どもたちに紙芝居を披露されました。

以前から、「子どもたちに命の尊さやボランティアの精神を伝えたい」と紙芝居の実演を考えておられました。このたび、手作りの紙芝居が完成し、披露されることとなりました。

今回演じられた「はしのつえのおおかみ」は、動物たちのお話を通して、みんなが仲良く、親切になることを伝えるもの。子どもたちと対話しながら、その大切さを伝えられました。

このほか、「稲むらの火」「ナイチンゲール」の紙芝居2作も完成したそうです。



▲子どもたちは、大きな画面で移り変わる紙芝居に夢中でした

文化と人の温かさを伝える

中国清華大学生を農村民泊受け入れ

1月28日(木)、29日(金)の2日間、中国の清華大学の学生12名が「日本文化研修」の一環として日野町で農村民泊を体験されました。

学生たちは、近江鉄道に乗って日野町に到着。受け入れ家庭の皆さんの温かい出迎え後は、全員でもちつきを体験されました。

「毎日の普通の生活が文化である」と、受け入れ家庭の皆さんは、日頃の生活を体験してもらおうと、普段通りの生活の中で受け入れられ、学生たちは、各家庭で家族と同じように過ごされました。

「日本の家庭生活をこんなに近くに感じるのは初めて。一生忘れない経験になります」「日野の方の情熱が感じられ、一生の思い出になると思います」と学生の皆さん。1泊2日の体験では、人の温かさを感じ取る研修にもなったようです。



▶受け入れ家庭の皆さんが、日野駅で学生たちをお出迎え



▶初めてのもちつきをし、盛り上げる学生たち



▲2日間をともに過ごし、別れを惜しむ学生と受け入れ家庭の皆さん



まちのわだい

地域の農業を守つていく

農事組合法人

「アグリファイチャー別所」を設立

1月31日(日)、別所農業集会所において農事組合法人設立総会が開催され、「アグリファイチャー別所」が誕生しました。

別所では、農業の高齢化などを考え、以前から共同で作業を行うなど、一集落一農場を実践してこられました。昨年6月から準備をすすめられ、このたび法人化されることとなりました。

代表理事の飯沼喜代次^{いぬまきよじ}さんは、「もともとみんなでやろうということから出発してきました。法人化することによって、今の状況を維持しながら別所の農業を発展させていきたいです」と話されました。



▲設立総会であいさつをされる飯沼代表理事



▶子どもたちからは、議会に関する質問がたくさん出ました



▶砂糖と小麦粉で作った「いりこ」は、椿の葉を使って食べました

議会ってどんなところ？

桜谷小学校6年生が議場見学

2月5日(金)、桜谷小学校6年生25名の子どもたちが、議場を見学するために役場を訪れました。

議会事務局職員から、議会は町の予算を決めたり、条例を決めたりする場であることなど、議会の役割についての説明がありました。

子どもたちからは、議員数や年間の議会回数、議会の質問内容のほか、「議員さんの平均年齢は何歳ですか?」「議会中にトイレに行きたいときはどうするのですか?」など、さまざまな質問が出ました。

「裁判所みたい」と、初めて見る議場の設備に興味津々の様子でした。

おじいさんおばあさんから学び

必佐小学校3年生が昔体験

2月9日(火)、必佐小学校3年生52名が「昔のくらし学習」の授業を受けました。3年生の児童のおじいさん、おばあさん10名が先生として登場。昔に体験されたことを子どもたちに伝えられました。

昔ながらのかきもち、ふなやき、すいとんなどを調理され、子どもたちは、「昔っていいなあ。おいしい」と、うれしそうに食べていました。

このほかには、めんこ、おはじき、こままわしなどの遊びも体験。

昔の生活を知る楽しい体験となりました。